

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	男女共同参画推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	平成14年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	男女共同参画社会基本法、加古川市男女共同参画行動計画、加古川市職員男女共同参画率先行動計画

【事業概要】

現状と課題	少子高齢化や人口減少社会の本格化など社会情勢の変化に対応し、社会や経済を活性化させるため、男女が様々な分野でともに参画し、責任を分担し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現が求められている。この男女共同参画の理念をいかに早く社会に普及させるかが課題である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	男女共同参画社会の実現の必要性を市民が深く知るところとなり、男女共同参画社会の構築を担う人材が育成され、女性の社会参画や男性の家庭・地域参画が増加する。
対象 ※誰、何に対して	すべての市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	男女共同参画センターを拠点に、男女共同参画に関する啓発事業や情報の収集と発信を実施する。また、女性の再就職等チャレンジを支援する講座、相談事業及び市民団体グループの育成等を行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	3,312千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,312千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	07企画費
細目	025男女共同参画推進事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	3,312千円	3,202千円	3,283千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>計画的に事業を実施し、参加者も増加したことから、啓発事業として一定の効果を得ている。男女共同参画行動計画の視点の一つである男性や若年者に対する啓発の推進のために、今後も男性や若年者が参加しやすい事業(休日の開催やニーズに対応したテーマの設定)を展開する必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	男女共同参画推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	男女共同参画センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
15歳以上の市民 (10/1付住民基本 台帳人口)	人	232,811	233,023	232,761

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
事業実施回数	回	56	67	65
活動指標 分析結果	出前講座の開催数が例年に比べ減少したが、その他の事業は概ね予定通り行った。受講者アンケート等をもとにニーズ把握に努め、今後の企画の参考とする必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
審議会等への女性の参画率	%	34.3	30.9	29.6	平成27年度	50
事業参加者数	人	1,838	1,691	1,415	平成27年度	1,700
活動団体数(男女)	団体	6	6	6	平成27年度	8
成果指標 分析結果	審議会などの女性委員の割合は34.3%と着実に上昇しており、引き続き目標達成に向け推進を図る。また、事業参加者数については、事業回数が減少した一方で、1講座あたりの人数が100人以上となった講座があるなど、目標を達成した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	女性団体活動支援事業	部局名	企画部
		課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	平成16年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	女性団体連絡会での加盟11団体の情報交換等が活発に行われている。しかし、加盟団体の多くで、会員の減少傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内で活動している女性団体、女性グループがお互いにその立場を尊重し、情報交換等を通して、交流連携を深めるとともに、女性リーダーの育成と団体相互のネットワーク化を図り、活力ある地域づくりに寄与する。
対象 ※誰、何に対して	20歳以上の女性
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	1. 女性団体連絡会の開催(情報交換) 2. 研修事業(リーダー研修、市議会傍聴、まちづくり講座への参加) 3. 交流事業(東播磨地域子育てネットワーク交流大会への参加) 4. 啓発事業(市民向け公開講座の企画・開催、団体紹介冊子の作成及び市HPへの掲載、男女共同参画週間における各団体が主催する公開講座の開催)

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	134千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	134千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	07企画費
細目	035女性団体活動支援事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	134千円	127千円	125千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	毎年同じ事業になりがちなので、男女共同参画センターも積極的に企画に加わり、より効果の高い事業に改善する必要がある。また、まだ加入していない女性団体に加入を働きかけて活動を広げていく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	女性団体活動支援事業	部局名	企画部
		課(室)名	男女共同参画センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
20歳以上の女性 (10/1付住民基本 台帳人口)	人	112,212	112,427	112,409

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
女性団体連絡会事業実 施回数	回	12	13	12
女性団体連絡会事業参 加者数	人	279	315	241
活動指標 分析結果	事業については、概ね予定どおり行った。事業への参加者数は開催 内容や定員等により年度ごとに増減がみられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
女性団体連絡会加盟団 体	団体	11	11	11	平成27 年度	13
女性団体連絡会加盟団 体会員数	人	2,341	2,479	2,567	平成27 年度	3,000
成果指標 分析結果	加盟団体数は変わらないが、一部加盟団体の会員数が著しく減少したことが、当団体の会員 数減にも影響している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川市連合婦人会活動支援事業	部局名	企画部
		課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	連合婦人会は、現在8地区の婦人会で構成している。消費者協会や婦人防火クラブとほぼ同じ役員で構成しており、役員の高齢化が進む傾向にある中で、婦人会の団体数及び会員数ともに新たな増員が困難な状況にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域を代表する女性団体である連合婦人会对し、運営に係る補助金を交付することにより、連合婦人会の運営基盤を安定させ、福祉活動や子育て支援事業等の自主事業を通じて、参加者同士または婦人会会員や住民との交流を促し、地域コミュニティの活性化、再生を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市連合婦人会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市連合婦人会の運営に係る補助金を交付する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	400千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	400千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	07企画費
細目	040加古川市連合婦人会活動支援事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	400千円	400千円	403千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	補助金を交付することで、連合婦人会の運営基盤の安定につながっている。しかし、連合婦人会の活動事業を増やすことは、役員が消費者協会や婦人防火クラブ員も兼ねていることから、難しいと考える。また、会員数を増加させることも現状では困難である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川市連合婦人会活動支援事業	部局名	企画部
		課(室)名	男女共同参画センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
連合婦人会	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
事業実施回数	回	9	9	9
活動指標分析結果	連合婦人会の子育て支援事業の実施回数は例年どおりであり、すべて当初の予定どおり実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
連合婦人会加入婦人会	団体	8	9	9	平成27年度	9
連合婦人会会員数	人	594	579	528	平成27年度	530
事業参加者数	人	328	245	322	平成27年度	460
成果指標分析結果	婦人会の地区数は1地区減少し、8地区となったが、婦人会の会員数は微増傾向にある。今後は事業への参加者を増やすため、さらなるPRに努める必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	婦人相談員事業	部局名	こども部
		課(室)名	家庭支援課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	売春防止法・加古川市婦人相談員に関する条例・加古川市婦人相談員に関する条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	制度開始当初の売春防止に関する相談は時代の変化に伴い減少しているが、現在の婦人相談員の役割として、悩みを抱える女性からの相談受け、支援を行っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	悩みや問題を解決することで、精神的・経済的などの不安を取り除くき、安心して自立した生活が営める状態にする。
対象 ※誰、何に対して	離婚・夫婦関係・親子関係・生き方などの悩みや問題を抱える女性
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	婦人相談員・女性問題カウンセラーを配置し、相談に対する支援及び助言を行う。(女性問題カウンセラー配置は平成25年度まで。)

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	2,621 千円	
財源内訳	国庫支出金	1,303 千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,318 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	03民生費
項	01社会福祉費
目	01社会福祉総務費
細目	005女性問題相談事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	2,621 千円	2,621 千円	2,596 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	専門の相談員の配置により、相談支援ができています。しかし、女性及び家族の問題は複雑化してきており、他の機関との連携が今後ますます重要となってくる。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	婦人相談員事業	部局名	こども部
		課(室)名	家庭支援課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						